



平成21年8月号 No.86 発行/館山市議会

TATEYAMA

〒294-8601 館山市北条1145-1 ☎0470-22-3527

●議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



平成21年第1回臨時市議会(4月28日開催)

平成21年度一般会計補正予算など
2議案を議決

平成21年第2回臨時市議会(5月29日開催)

職員給与条例の改正など
3議案を議決

平成21年6月定例会市議会

国民健康保険税条例の改正など
13議案を議決

6月定例会市議会は、6月10日から26日までの会期17日間わたって開かれ、市長から提案された8議案、議会から提出された5議案が、いずれも原案どおり可決されました。

6月定例会において、会議初日(6月10日)は、会期を17日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明が行われました。

6月15日及び16日は、9人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをたどしました。

6月19日は、各議案について質疑を行った後、所管の常任委員会に審査を付託しました。

最終日(6月26日)は、各委員会の委員長が委員会での審査の経過及び結果を報告した後、討論、採決を行いました。

主な内容

- ★議案の概要 2頁
- ★委員会の審査 3~4頁
- ★一般質問 5~9頁
- ★議決結果 10頁

続いて、追加議案の審議を行い、議長及び副議長の選挙、監査委員選任、農業委員会委員推薦議案の審議、常任委員会及び議会運営委員会委員の改選等を行い、閉会しました。

第39代市議会議長に

吉田 惠年 議員



本橋亮一議長の辞職に伴う議長選挙の結果、吉田惠年議員が議長に当選しました。

吉田議長は、当選後の挨拶で「議会の役割が増えていく中、浅学非才な私ですが、公平・公明・公正な議会運営を心がけ、市勢発展のため誠心誠意努力していきたい。」と述べました。

第53代副議長に

福岡 信治 議員



三上英男副議長の辞職に伴う副議長選挙の結果、福岡信治議員が副議長に当選しました。

福岡副議長は、当選後の挨拶で「これまで以上に館山市及び館山市民のために一生懸命頑張っていきたいので、皆様のご協力をお願いします。」と述べました。

議会構成の一部を変更

辞職に伴う議長、副議長選挙及び各組合議会議員の補欠選挙並びに任期満了に伴う常任委員会委員及び議会運営委員会委員の改選などが定例会最終日に行われ、新しい議会構成は次のとおりになりました。また、吉田惠年議員が議長に、福岡信治議員が副議長になったことに伴い、館山湾整備調査等特別委員会の委員に本橋亮一議員が、企業誘致等調査特別委員会の委員に三上英男議員が、それぞれ選任されました。

建設経済委員会委員(6人)

- 早船 亮一 ○三澤 智
- 本多 成年 秋山 貴
- 松坂 一男 本橋 亮一

議会運営委員会委員(9人)

- 小幡 一宏 ○秋山 貴
- 三澤 智 鈴木 正一
- 今井 義明 内藤 欽次
- 山口 安雄 早船 亮一
- 鈴木 順子

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員(1人)

- 本橋 亮一

安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員(2人)

- 吉田 惠年 本橋 亮一

議 長 吉田 惠年

副議長 福岡 信治

(○)委員長、(○)副委員長

- 総務委員会委員(7人)
- 山口 安雄 ○今井 義明
- 真田 司郎 福岡 信治
- 小沼 晃 三上 英男
- 小幡 一宏

文教民生委員会委員(7人)

- 榎本 祐三 ○鈴木 正一
- 吉田 惠年 石井 信重
- 吉田 正二 内藤 欽次
- 鈴木 順子

館山市及び南房総市学校給食組合議会議員(5人)

- 鈴木 正一 今井 義明
- 秋山 貴 早船 亮一
- 鈴木 順子

議案の概要

第1回臨時会に提案された議案を紹介します。

議案第34号 館山市市税条例

等の一部を改正する条例の専決処分の承認について(土地に係る固定資産税・都市計画税について現行の負担調整措置等を継続するとともに、長期優良住宅の新築に係る固定資産税の減額措置が創設されたことに伴う改正を行ったものを承認しようとするもの。

議案第35号 平成21年度館山市一般会計補正予算(第1号)

市一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ5163万9千円を追加し、総額161億3563万9千円としようとするもの。

国の経済対策の「ふるさと雇用再生特別交付金」、「緊急雇用創出事業」を活用しようとするもの。

第2回臨時会に提案された議案を紹介します。

議案第36号 館山市議会議員

の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第37号 館山市長及び副

市長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第38号 館山市職員給与

条例の一部を改正する条例の制定について

人事院・県人事委員会の勧告に準じ、市職員の期末勤勉手当を0.2か月分凍結するとともに、市長、副市長及び教育長並びに市議会議員の期末手当についても同様に0.2か月分凍結しようとするもの。

6月定例会に提案された
主な議案を紹介します。

議案第39号 安房郡市広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び安房郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について国において広域行政圏計画策定要綱が廃止されたため、共同処理する事務の変更及び規約を改正しようとするもの。

議案第40号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について個人住民税における住宅ローン特別控除制度の見直しに伴う改正及び原動機付自転車等の標識の再交付にかかる弁償金を150円から300円に見直そうとするもの。

議案第41号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について高齢者の医療制度の改正や増加する医療費などの影響による歳入不足を補うため、医療給付費分の所得割額、被保険者均等割額及び世帯別平等割額をそれぞれ引き上げようとするもの並びに介護納付

金分の課税限度額を9万円から10万円に引き上げようとするもの。

医療給付費分の見直し概要

	20年度	21年度
限度額	470,000円	変更なし
税率	所得割額	6.2/100
	資産割額	30/100
	被保険者均等割額	16,200円
	世帯別平等割額	24,000円
	21,600円	27,000円

議案第42号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について平成21年10月より平成22年度末までの暫定措置として、出産育児一時金を38万円から42万円に引き上げようとするもの。

議案第43号 平成21年度館山市一般会計補正予算(第2号)市一般歳出それぞれ8574万円

を追加し、総額162億2137万9千円としようとするもの。
歳出の主なものとして、母子保健事業、e・地域資源活用事業、館山工業団地地区外排水路整備事業の増額など。

議案第44号 平成21年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)市一般歳入歳出それぞれ1億3724万6千円を追加し、総額64億9100万7千円としようとするもの。

歳出の主なものとして、一般被保険者療養給付費、老人保健医療費拠出金、介護納付金の減額、退職被保険者等療養給付費、一般被保険者高額療養費、退職被保険者等高額療養費、後期高齢者支援助金、財政調整基金積立金、過年度療養給付費等交付金返還金、過年度療養給付費等国庫負担金返還金の増額など。

【追加議案】
議案第45号 人権擁護委員候補者の推薦について人権擁護委員法の規定により、新たに生稲裕美さん(北条1612)を推薦しようとするもの。

議案第46号 館山市監査委員

の選任について議員のうちから選任する監査委員に、本橋亮一議員(長須賀299)を選任したいとして同意を求めもの。

【議会提案議案】
議案第1号 基地対策関係予算の増額等を求める意見書について

議案第2号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について
請願第12号の趣旨による。

議案第3号 国における平成22年度教育予算拡充に関する意見書について
請願第13号の趣旨による。

議案第4号 議案第41号館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてに対する附帯決議の条改正により被保険者に多大な影響を及ぼすことから、税滞納整理により一層努めて収納率の向上を図ること、医療費の抑制を図ることを求めるもの。

議案第5号 農業委員会の委員となるべき学識経験者の推薦について議会推薦により市

長が選任する農業委員会委員に、小沼晃さん(坂足432)を推薦しようとするもの。

【意見書提出】
委員会提出の意見書を3件可決し、関係機関に提出しました。(議案第1号、第3号の趣旨によるもの)

委員会の審査
各委員会における審査について、主なものをお知らせします。

総務委員会

議案4件について審査を行いました。

議案第41号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
値上り額が大きいので事前の説明期間を設けるべきではなかったのか聞いたところ、7月送付予定の納付書に説明文を同封

した。

するとともに市広報紙でもお知らせする準備を進めているとの説明がありました。

過去の大幅な増額の有無について聞いたところ、昭和61年度に、老人保健による老人医療費で患者本人の一部負担の中で所得制限がなくなったとの事情により、18パーセント増の見直しがあったとの説明がありました。

前回19年度改正の際に収納率向上を附帯決議したが、収納率向上の手応えを感じているか聞いたところ、景気低迷の中、滞納整理担当を設置して差し押さえ等による滞納処分を強化したため、85・57パーセントの徴収率を上げているとの説明がありました。

国保の現在の制度上、今後も増額が予想されるが、当分は今回の改正でしのげるのか聞いたところ、税率アップは対処療法に過ぎず、徴収率の向上はもちろん、大切なのは日常の健康管理であり、総合検診等の予防医療などに力を入れていきたい。また、病気になるたらしつかり治してもらい、医療機関の効果的な利用の仕方についても啓蒙する必要があるとの説明がありました。

市でジェネリック薬品の使用を勧められるのか聞いたところ、国からの通知もあり、今後、市広報紙で周知予定であるとの説明がありました。

一般会計から国保会計への繰入金について、今まで以上に繰入額を増額することは可能か聞いたところ、国保会計は特定の人を対象としているため、国保加入者以外の人の理解を得るのが困難であり、現状維持すべきと考えているとの説明がありました。

討論では、19年度に附帯決議をつけて税率を上げたのに、短期間で再度の値上げには反対するとの討論がありました。また、市民には病気に対する予防、健康増進を呼びかけ、市には収納率の向上に今一段の努力を求めて賛成するとの討論がありました。

議案第43号 平成21年度館山市一般会計補正予算(第2号)

妊婦・乳児一般健康診査等委託料及び妊婦一般健康診査助成金について説明を求めたところ、妊婦健康診査の公費負担を5回分から14回分に増やしたことによる補正であるとの説明がありました。

また、健診の内容・単価は千葉市市長会と千葉県医師会が協議して県内統一のものど決まったもので、その単価に基づいて各市町村が千葉県の医師会又は日本助産師会千葉県支部と委託契約を結び、委託先で健診を受けた場合は委託料から支払うことになること説明がありました。

また、里帰り出産で県外で健診を受ける場合で、当該医療機関と委託契約が結ばない場合には、一時本人が健診費用を負担し、後日、市に申請することにより、市から費用を償還払いするとの説明がありました。



文教民生委員会

議案2件、請願2件について審査を行いました。

議案第42号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

社会保険の場合の出産育児一時金はいくらか聞いたところ、国民健康保険と同様であるとの説明がありました。

議案第44号 平成21年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入で前期高齢者交付金が約2億円減額した理由を聞いたところ、20年度予算額は18年度実績による見込額であり、その差額は22年度に精算となるとの説明がありました。

国民健康保険制度は非常にわかりづらいので値上げをきっかけに市の出前講座に力を入れてみてはどうかと聞いたところ、どのような形が望ましいか検討するとの説明がありました。

滞納者への対応について聞いたところ、昨年度から滞納整理

担当を設け強化しており、財産調査の予告から差し押さえまでを行うことのでかかなりの効果を上げているとの説明がありました。

請願第12号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願書

請願第13号 「国における平成22(2010)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

このような請願は毎年継続して出してほしいものであるとの発言がありました。



ひまわりの種まきをする幼稚園児たち



一般質問

市政に関する一般質問は、6月15日及び16日の2日間にわたり、次の9名の議員が行ないました。

議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。

一般質問通告要旨

今井 義明

①観光立市としてのトイレ整備について ②二次交通の整備について ③地上デジタル放送及び携帯電話の電波受信障害対策について

本多 成年

①お年寄りの交通事故防止について ②館山駅東口再開発について ③館山港多目的観光栈橋の整備について ④自治基本条例について

榎本 祐三

①蟹田川の護岸整備について ②看護学校の設立に対する市の関わりについて ③館山市バイオマスタウン構想について ④館山市の財政状況と行財政改革について

真田 司郎

①国の補正予算による経済危機対策関係経費について ②国保・介護の今後の見通しについて ③地球温暖化防止に向けての市としての政策について ④社会福祉協議会の支部活動について ⑤障害者の市民窓口サービスについて ⑥市所管施設の防火管理者の業務について ⑦自主防災組織の活動内容について ⑧農地の埋め立てによる問題点について

秋山 貴

①観光振興について（「みなとオアシスたてやま・渚の駅」・高速ジェット船運航実績等について） ②館山市行財政改革プランについて（20年度取り組み実績、21年度の具体的施策について）

吉田 正二

①市道の未登記問題について ②防災・防火施設の今後の整備計画について（防災無線不感地域解消、防火水槽の有蓋化計画について） ③市入札における最低制限価格の変更の効果について ④巴川における汚染と悪臭の状況について ⑤北条海岸の無料駐車場における利用方法等について ⑥高齢者の交通事故対策と今後の交通指導について

鈴木 順子

①介護保険見直しによる問題点について及び現状の施設状況について（保険料・認定申請による調査・サービス利用状況と今後・施設ベッド数不足について） ②学校再編答申を受け今後の具体的なスケジュール及び進め方について ③こども園開始によるメリット、デメリット ④環境行政の今後の進め方について（ゴミ搬出場所の状況・プラスチック分別の状況について）

内藤 欽次

①小中学校の再編について ②館山栈橋の建設（渚の駅）関連のことについて ③旧ごみ袋にシールを貼る扱いについて ④合併浄化槽設置補助金の増額について

三澤 智

①海、川、浜について（ルールブック・EM活性液・浜の活用について） ②建設・土木について（総合評価・工事代金支払・船形バイパスの見通し・渚の駅の構想・観光栈橋の二期工事について） ③危険老朽空き家対策事業について

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、9月上旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムをご覧ください。

主な質問と答弁

観光・みなとまちづくり

- ・トイレ整備
- ・高速ジェット船運航実績
- ・館山港多目的観光棧橋
- ・渚の駅
- ・海、浜ルールブック

問 今春の高速ジェット船の運航実績及びパッケージツアーによる地元経済への波及効果等はいかがでしょうか。

答 2月5日から運航の「東京→館山→大島→下田間」は運航4年目で8953人乗船し、昨年実績より2100人増え、31パーセント増となりました。3月11日から運航の「東京→館山→大島間」については5年目の運航となり、8330人乗船し、昨年実績より1771人増え、16パーセント増となりました。

問 トイレは観光都市の顔であり、トイレが日本一きれいなまちづくりを目指してはいかがでしょうか。

答 トイレ整備は観光立市推進上、非常に重要と考えています。市内公衆トイレのうち4箇所が水洗式でないため、水洗式に改修する必要から今年度は相浜海水浴場のトイレを整備予定です。水洗式に改修することで維持管理費も増大することから、今後は地域・観光事業者・関係団体の理解・協力を得て、地域に清掃を依頼するなど、市民との連携の下、地域ぐるみで清潔なトイレの維持管理に努めていきたいと考えています。

問 館山湾振興ビジョンによる「みなとオアシスたてやま・渚の駅」について多目的棧橋・水族館・ターミナル等々の建設状況及び計画について伺います。

答 多目的観光棧橋については、8月下旬までに下部工を整備し、その後、上部工・付帯施設の整備を3月下旬に完了させる見込だと県から伺っています。水族館については、平成20年度に実施設計をし、面積は約400㎡で「たてやまの海」をコンセプトとしたもので21年度中のオープンを目指しています。

駐車場については最大限整備可能なスペースとして普通車約100台、大型バス4台、その他路線バスやタクシーの停車場所を確保した設計をしています。



恵まれた資源である海（鏡ヶ浦）

問 館山海・浜のルールブック策定に至るまでの経緯等について伺います。

答 館山湾は、漁業関係者、マリンスポーツ愛好者、海水浴客など幅広い層に利用され、トラブルや事故の未然防止が喫緊の課題となっていました。昨夏には、沿岸部における合同パトロールを実施するなどマナー向上に向けた水際の抑止力につながる取組を展開しました。その後、検討委員会を設置してルールやマナーについて協議・検討を行いました。策定方針としては、「恵まれた資源である海を

生かし、多くの来訪者で出会いと交流の場を形成するために、また、漁業関係者の操業活動等を適切に確保するために、海・浜を利用する誰もが安全かつ安心して楽しんでいただけるための共通ルールを策定し、それを地域内外に向けて強く発信していく」としています。

問 棧橋工事中のウミホテルの生育状況及び保護対策について伺います。

答 生育状況については、館山ウミホテル観察クラブから「工事開始後は一時的に減少しましたが現在は餌を定期的に供給していることにより多くなっています」と伺っています。保護対策については、千葉県から夜間照明が海面を照らさない構造、海底の地質を変えない施工の実施がされていると聞いています。

防災・防犯・交通

- ・二次交通の整備
- ・交通事故防止
- ・防災無線

問 交通弱者等の移動手段と

して二次交通の整備が重要と考えるが、市の認識を伺います。

答 高齢化が進行する中、運転免許返納者や元来免許を所持していない方にとって、路線バスやタクシーなどの地域公共交通は、生活に密着したものであり、日常生活を送る上で欠かせない重要なものと認識しています。館山警察署管内で運転免許返納者は20年度中で27人おり、増加傾向という事です。市としては、運転免許返納者への支援策や公共交通空白地区である畑地区へのスクールバスを市民が利用する実証実験など、市公共交通連絡会で検討していきたいと考えています。

問 高齢者の事故が多発しているが、現在の対策と今後の交通指導について伺います。

答 館山警察署管内で今年1月から6件の死亡事故が発生したことを受け、警察署で緊急対策会議がもたれ、犠牲者は高齢者が中心であることから、高齢者に対する交通事故防止の啓発依頼がありました。市としては、警察署と協力して、速やかに高齢者の交通安全対策や運転者の注意を喚起する街頭監視、広報活動を実施するとともに、交通

事故現場における緊急現地診断を実施し、現在、事故現場の改善点について協議しています。今後、警察署と協力して市内の老人クラブ等に対し、体験型の交通安全教室や事故防止の講話等の交通指導を計画しています。

問 防災無線の不感地域解消に向けた整備計画について伺います。

答 19年度から防災行政無線のデジタル化を進めており、既に新設10基、更新20基の整備を終えています。今後は、内陸部など整備されていない地区を最優先に、受信感度の悪い地域の解消に努力していきます。

問 防火水槽の有蓋化計画について伺います。

答 すべてを蓋かけしなくてもフェンス設置で安全性が確保される場合もありますので、そのような箇所については、地元消防団による定期点検等により危険がないよう現状把握に努め、必要に応じてフェンスの張替え等に対応しています。なお、防火水槽の蓋かけについては、必要性を総合的に判断し、対処していきます。

都市計画・建設

- ・館山駅東口再開発
- ・蟹田川護岸整備
- ・市道の登記

問 駅東口市有地を取得した

新権利者の計画づくりに市は関与しないのか、また、この計画に市民サービスの窓口部門等設置する考えはないのか伺います。

答 駅東口周辺の活性化を目的とした事業を展開することを条件に市有地を売却しており、民間活力による賑わいの創出を期待しています。新権利者は、市民や関係者との意見交換の場を設けており、市としても意見交換を行っています。

また、現在、市民サービス窓口の設置については、必要性は乏しいと考えています。

問 蟹田川の護岸整備に関する地元からの要望に対して実現の見通しはどうか伺います。

答 地元要望の延長1kmの護岸整備は、多額の事業費と数年の整備期間を要する大事業です。現在、各地区からの数多い

要望において、緊急自動車の通行に苦慮している道路の拡幅事業など、優先度の高い事業があることから、ここ数年においての実施は非常に難しいものと考えています。なお、現状において、家屋が隣接するなど優先度の高い箇所についてはおおむね護岸整備が完了しています。



整備要望のある蟹田川護岸

問 市道が個人等の所有となつたまま未登記の用地があるが、その対応について伺います。

答 市道認定や道路改良等を行った際に、道路用地として使用することについては承諾していただいたものの、相続等の要因により館山市への所有権移転の手续が行えなかった土地であると考えられます。今後も、このような土地については、適時、土地所有者と協議していきま

す。

保健・医療・福祉

- ・看護学校設立
- ・国保等の今後の見直し
- ・介護保険

問 看護学校設立に向けて市で把握している進捗状況を伺います。また、今後市としてどのように取り組むのか伺います。

答 昨年9月に看護学校設立発起人会への参加を承諾しましたが、いまだ発起人会も開かれていない状況です。

看護学校の設立は、地域医療の確保のために、安房地域全体で対応すべき問題だと認識しています。市としては、安房医師会の意向を受け、安房3市1町で連携を図りながら、対応していきたいと考えています。

問 高齢化は著しく、それに伴い医療費も増え、国保運営は厳しくなり市民の負担は増える一方ですが、国保・介護の今後の見直しを伺います。

答 市では高齢化率が30パーセントに達し、介護保険においては要介護認定者数の増加とともに給付費がますます増加するものと思われます。

また、国民健康保険においては、年々医療費が増加し、財政状況は非常に厳しい状況にあります。もはや、一市町村では運営が困難なものとなっており、広域的な運営が必要であると考えています。

問 21年度から23年度までの介護保険料が段階的に上がるが、これを被保険者に周知する必要があると思うがどうか。

答 保険料の改定と合わせて国の交付金による段階的な軽減措置が講じられました。その内容については、広報への掲載や市ホームページを活用して周知に努めています。また、納入通知書にも説明用のチラシを同封し、お知らせしていきます。

問 介護保険認定申請の調査項目等の変更による現場の混乱や認定作業の遅れはないのか伺います。

答 平成21年度から要介護認定の方法が見直されて調査項目及び記載方法が変更されまし

た。介護の手間に係る審査判定に
関しては、調査員が記載する特
記事項及び主治医意見書が重
要な要件となることから、記載
に当たっては特に注意を払って
います。以前より調査時間が多
少長引くことはあっても、特段
の混乱もなく、認定作業の遅れ
は現在のところありません。

問 介護保険に関して、施設
のベッド数の現状と計画につい
て伺います。

答 平成20年度末で市内の各
施設のベッド数は558床、待
機者数は330人です。まだベ
ッド数は十分ではありません
が、第4期介護保険事業計画で
は、平成23年度末までに162
床の増床を見込んでいます。

環境

- ・バイオマスタウン構想
- ・地球温暖化防止
- ・EM活性液

問 館山市バイオマスタウン
構想に対する国補助金はどのよ
うになっているのか。また、取
り組みに関して市独自で事業実

施をして施設建設等を行い運用
するの伺います。

答 バイオマスに対する補助
制度としては、農林水産省所管
の「地域バイオマス利活用交付
金」があり、交付率は、事業実
施主体が市町村の場合は2分の
1以内、民間事業者の場合は3
分の1以内となっています。

また、バイオマスタウン構想
の策定は、市にあるバイオマス
資源の存在と、それを活用する
方向性を示して広めることによ
り、民間活力を誘導すること
を視野に入れていますので、市
独自の事業実施は想定してい
ません。

問 地球温暖化防止に向けた
市の政策を伺います。

答 先日、国から温室効果ガ
ス排出量削減の中期目標が「平
成17年比15パーセント減」と示
されました。市では平成15年
に地球温暖化対策実行計画を策
定し、削減に向けて積極的に取
り組み、平成19年度には平成12
年度対比で14・49パーセントの
削減をしました。今後も、市民
や事業所の模範となるよう、第
二次実行計画では平成24年度ま
でに20パーセント以上削減す
ることを目標に掲げ、自ら率先し

て対策を進めています。削減で
一番大きなポイントは、ゴミの
減量化・再資源化です。今年
1月より新たな分別を開始し更
なるゴミの減量化に取り組んで
います。さらに、家庭でできる
地球温暖化対策をシリーズで広
報に掲載したり、太陽光発電の
学校や公共施設への導入や、省
エネルギーナビゲーションやC
O2家計簿の普及促進に努める
など、引き続き市民の協力を得
ながら施策に総合的に取り組
みたいと考えています。



太陽光発電導入の館山二中

問 EM活性液による河川浄
化の活動への支援について伺
います。

答 行政と市民の協働の役割
分担の中で、行政としては、公
共下水道の整備、生活排水処理
施設による河川浄化、浄化槽の

普及、家庭でできる浄化対策の
啓発など公共用水域の保全に努
め、河川浄化活動についてはN
POを中心とした市民レベルで
お願いし、これらの活動に対し
て補助金などの支援をしていき
たいと考えています。

市民による河川浄化活動には
大変感謝しています。今後、こ
うした河川浄化活動が市民の間
に広がりを見せることを期待し
ています。

行政

- ・経済危機対策
- ・行財政改革

問 国の補正予算による経済
危機対策として、市ではどのよ
うな対策を考えて補正予算を組
むの伺います。

答 国の21年度第1次補正予
算により、地域活性化・経済危
機対策臨時交付金が配分される
ことになりました。この交付金は、
地球温暖化対策、少子高齢化社
会への対応、安全・安心の実現、
その他将来に向けた地域の実情
に応じるときめ細かな事業を積極
的に実施できるよう創設された

小中学校の再編

問 学校再編の答申を受けて
の今後の具体的スケジュールと
進め方について伺います。

答 21年3月に学校再編調査
検討委員会より、次代を担う子
供たちの教育環境はどうあるべ
きかという観点を軸とした、将
来における再編の方向性・基本
的な考え方について答申書が提
出されました。概要としては、
適正規模における答申3項目、

配置における答申2項目、再編時に配慮すべき事項についての答申6項目と様々な視点から再編を進める上での意見が述べられています。

今後の取り組みについては、答申内容を尊重しながら、教育委員会において、21年度中に学校再編における基本的指針を作成し、できれば年度末から22年度にかけ地域説明会を実施していきたいと考えています。

契約制度

問 入札における総合評価方式、工事代金の支払いについて伺います。

答 総合評価とは、価格と品質の両面から最も優れた評価を得たものを落札者とする方式であり、今年度は、土木・建築工事で11件の入札を予定しています。

工事完成に伴う請負代金の支払いについては、契約約款に基づき、請求日から40日以内に行っています。

問 市の入札において最低制限価格が20年度より変更されましたが、その効果について伺い

ます。

答 予定価格が500万円を超える工事について、土木工事では最低制限価格を予定価格の70パーセントから80パーセントに、建築工事では70パーセントから85パーセントに引き上げました。この結果、従来にも増して、工事における良好な施工管理が確保されるとともに、資材調達への負担軽減、請負業者の安定的な雇用確保などが図られたものと考えています。

地上デジタル放送

問 地上デジタル放送の電波受信障害対策について伺います。

答 本年3月に館山中継局が開局し、地上デジタル放送の受信世帯が増加していますが、地理的条件から放送を視聴できないエリアが存在します。現在、整備が進められている丸山中継局・勝浦総野中継局・白浜中継局の開局により解消されると放送事業者から説明を受けています。しかし、受信できない世帯については、全中継局の開局後でないこと把握できないのが実情であり、国の施策として決定し

た2011年7月の地上アナログ放送の終了までに関係機関等と連携して、視聴できないエリアの解消に努めていきたいと考えています。



地上デジタル放送館山中継局

自治基本条例

問 市民の市政への参画と自覚を促すため、行政、議会、市民などの役割・関係を明確化したルールづくりが必要と思うかどうか伺います。

答 市としては、様々な主体と協働してまちづくりを推進していくための、市民・市議会・行政の責務や役割等を定めた基本的なルールづくりについて、今後予定している市民意識調査や次期5カ年計画の策定の中

で、その必要性・緊急性を検討していききたいと考えています。

本市への視察訪問

7月7日 鹿児島県志布志市議会の議員が、観光・海辺のまちづくりについて視察のため来館しました。

7月14日 広島県府中市議会の議員が、行財政改革について視察のため来館しました。

会議録の検索・閲覧

6月定例会及び委員会の会議録は、9月上旬にホームページから検索・閲覧ができます。

また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

また、「たてやま議会だより」は、平成20年5月号以降の分については、ホームページで閲覧ができます。

市議会を

傍聴しませんか！

傍聴の手続きは、希望する当日に議会事務局(市役所2階)前で用紙に住所、氏名等に記載するだけです。

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議

の生中継を配信していますので、ご利用ください。(館山市のホームページでご覧になれます)

2009年版

市政概要の販売

市の各種事業や統計資料を盛り込んだ「2009年版市政概要」が完成しました。

市政概要には、市のあゆみ、予算、決算、各種事業内容などが掲載されており、一部500円で販売しています。ご希望の方は、議会事務局でお求めください。

次の定例会の予定

開会日：9月2日(水)午前10時から
一般質問：9月7日(月)、8日(火)
予備日：9日(水)
各日それぞれ午前10時から
請願・陳情提出締切：8月27日(木)正午まで

平成21年第1回臨時会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第34号	館山市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認 全会一致
議案第35号	平成21年度館山市一般会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致

平成21年第2回臨時会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第36号	館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第37号	館山市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第38号	館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数

平成21年6月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第39号	安房郡市広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び安房郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定について	原案可決 全会一致
議案第40号	館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第41号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第42号	館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第43号	平成21年度館山市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
議案第44号	平成21年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第45号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
議案第46号	館山市監査委員の選任について	原案可決 全会一致
発議案第1号	基地対策関係予算の増額等を求める意見書につて	原案可決 全会一致
発議案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	原案可決 全会一致
発議案第3号	国における平成22年度教育予算拡充に関する意見書について	原案可決 全会一致
発議案第4号	議案第41号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてに対する附帯決議	原案可決 賛成多数
発議案第5号	農業委員会の委員となるべき学識経験者の推薦について	原案可決 全会一致
請願第12号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願書	採 択 全会一致
請願第13号	「国における平成22(2010)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採 択 全会一致

編集後記

6月定例会で館山市議会議員及び副議長をはじめ議会構成が変わりました。

これに伴い、「たてやま議会だより」の編集も私たちが担当することになりました。

皆様の意見を反映させて、読みやすく、議会の動きが良くわかる編集をしてみたいと思いますので、市議会に関する皆様のご意見、ご質問等をお待ちしています。

議会や議会だよりに関することのご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール（番号及びアドレスは表紙参照）でご連絡ください。

※議会報編集委員会※

◎委員長 ○副委員長

◎小幡 一宏 ○山口 安雄

榎本 祐三 早船 亮一

